



SCA Reporter テンプレート

この付録では、Cisco Service Control Application Reporter (SCA Reporter) のレポート テンプレートについて説明します。

- [レポート テンプレートに関する情報 \(p.D-2\)](#)
- [Global Monitoring テンプレート グループ \(p.D-7\)](#)
- [Package Monitoring テンプレート グループ \(p.D-8\)](#)
- [Virtual Links Monitoring テンプレート グループ \(p.D-9\)](#)
- [Subscriber Monitoring テンプレート グループ \(p.D-10\)](#)
- [Traffic Discovery - Statistics テンプレート グループ \(p.D-11\)](#)
- [Demographic Data and Service Popularity レポート テンプレート グループ \(p.D-12\)](#)
- [Web and Streaming レポート テンプレート グループ \(p.D-13\)](#)
- [Mail and News レポート テンプレート グループ \(p.D-14\)](#)
- [P2P レポート テンプレート グループ \(p.D-14\)](#)
- [VoIP レポート テンプレート グループ \(p.D-15\)](#)
- [Malicious Traffic テンプレート グループ \(p.D-16\)](#)




レポート テンプレートに関する情報

SCA Reporter のインストールには、レポート インスタンスの作成に使用するレポート テンプレートが含まれます。これらのテンプレートは、共通のテーマごとにグループ化されています。それぞれのレポート テンプレートでは、新しいレポート インスタンスを作成できます。プロパティにはデフォルト フィルタ値が割り当てられ、その一部は特定グループのすべてのインスタンスで共通です。プロパティを設定すると、さらに制約をかけることができます。



(注) デフォルト フィルタは、プロパティに最初に適用される値です。レポートを作成する前に、そのプロパティを再設定できます。プロパティをデフォルト値にリセットするには、プロパティを選択してクリックします。



(注)  (Restore Default Value)。必須プロパティの中には、デフォルト値  (not set) を持つものがあります。レポートを作成するには、これらのプロパティに値を割り当てる必要があります。オプションプロパティには、not set という値を割り当てることができます。すべてのプロパティを表示するには、 (Show Advanced Properties) をクリックします。

テンプレート ビューの使用可能グループのリストからレポート テンプレートを選択して、レポート インスタンスを生成します。

レポートには、次の2つのメイン カテゴリがあります。

- モニタリング レポート — 選択されたサービスについて、さまざまな粒度（グローバル、パッケージ、サブスクリイバ）でネットワーク リソースの使用状況を示します。
- トラフィック ディスカバリ レポート — ネットワーク アクティビティに関する統計情報を表示し、ネットワークを通過するトラフィックの特性を識別できるようにします。

レポート インスタンスのプロパティ

複数のテンプレート グループに属するレポート テンプレートに表示されるプロパティについて、次の表で説明します（1 つのみのテンプレート グループに属するレポート インスタンスのプロパティは、グループの説明とともにリストします）。

表 D-1 レポート インスタンスの共通プロパティ

プロパティ	フィールドタイプ	デフォルト	説明
[Items to Focus on]			
次のうちいずれかが大部分のレポート テンプレートに組み込まれます。			
[Services to view]	多重選択	(not set)	設定しない場合は、すべてのサービスが選択されます。
[Select services to view]	多重選択	(not set)	設定しない場合は、すべてのサービスが選択されます。
[Focus on the service]	単一選択	(not set)	設定しない場合は、すべてのサービスが選択されます。

表 D-1 レポート インスタンスの共通プロパティ (続き)




プロパティ	フィールドタイプ	デフォルト	説明
次のうちいずれかが多くのレポート テンプレートに組み込まれます。			
[Packages to View]	多重選択	(not set)	設定しない場合は、すべてのパッケージが選択されます。
パッケージ	単一選択	 (not set)	必須プロパティ
[Name of subscriber to focus on]	フリー テキスト	(not set)	サブスクライバ テンプレートグループのレポート インスタンスの必須プロパティ IP アドレス (10 進フォーマット) またはサブスクライバ名
[Time Frames to focus]	多重選択	(not set)	設定しない場合は、4 つすべての時間枠が選択されます。
時間境界 — 表のあとの注を参照			
[Starting after date]	日時	(not set)	
[Ending before date]	日時	(not set)	設定しない場合は、レポートが現在の時間に拘束されます。
[From the last number of hours]	フリー テキスト	24	[Starting After Date] プロパティと [Ending Before Date] プロパティを両方とも設定した場合、表 D-2 は無視されます。
[From the last number of Days]	フリー テキスト	7	
[Specific Time]	日時	 (not set)	必須プロパティ その他 3 つの時間境界プロパティの代わりに、3 つのレポート インスタンス タイプに表示されます。 選択した時間は、最も近い日付および時刻に丸められます。
[Traffic Parameters]			
[Link to Focus]	多重選択	(not set)	注目する使用可能リンクのリスト
次のうちいずれかが多くのレポート テンプレートに組み込まれます。			
[Traffic Direction]	単一選択	レポート テンプレートによる	レポート テンプレートによる <ul style="list-style-type: none"> 方向のみ 方向およびメトリック

表 D-1 レポート インスタンスの共通プロパティ (続き)

プロパティ	フィールドタイプ	デフォルト	説明
[Metric to order]	単一選択	レポート テンプレートによる	レポート テンプレートとメトリックによる <ul style="list-style-type: none"> メトリックのみ メトリックおよび方向
[Data Show]			
[Pick BW Over]	単一選択	1 時間	
[SCE IP to view]	単一選択	インストール時:  (not set) その後:最後に割り当てられた値	必須プロパティ 特定の Service Control Engine (SCE) プラットフォームの IP アドレス
[Units of results]	単一選択	レポート テンプレートによる	
[Limit number of results]	フリー テキスト	10	
[Average Data by Hour]	ブール値	TRUE	このオプションを選択した場合は、レポートの各時間について単一の平均値が計算されます。このオプションは、24 時間以上にわたるレポートを生成する場合に推奨します。
[Show other Consumption]	ブール値	FALSE	
[Aggregation Period]	単一選択	Hourly	
[Subscriber Id]	フリー テキスト	(not set)	サブスクライバのグループを表すパターン

- すべてのレポート インスタンスに、[SCE IP to view] プロパティが含まれます。これによって、特定の SCE プラットフォームへのフィルタリングが可能になります。このプロパティは必須であり、永続的です。永続的とは、値が変更されるまで、現在の値がその後のすべてのレポートで使用されるということです。
- 時間境界プロパティは、Top Subscribers、Top Talkers、および Relative Consumption of Top Subscribers を除くすべてのレポート インスタンスで発生します。これらのプロパティは、次のとおりです。
 - [Starting After Date]
 - [Ending Before Date]
 - [From the Last Number of Hours/Days]

プロパティ [From the last number of hours/days] は、すべてのレポート インスタンスでデフォルト値に設定されます。3 つすべての時間境界プロパティを設定した場合、[From the last number of hours/days] プロパティは無視されます。プロパティ [Ending before date] を設定しない場合、レポートは現在の時間に拘束されます。

モニタリング レポートに関する情報

モニタリング レポートは、ネットワーク リソースの配布および消費に関する情報を提供します。この情報は、ネットワークの使用状況をさまざまな粒度（リンク全体、特定のパッケージ使用カウンタ内のすべてのサブスライバが生成するトラフィック、特定のサブスライバが生成するトラフィックなど）で把握する上で役立ちます。これらのレポートは、ネットワーク パターンの変更に従って Service Control ソリューションの設定を調整する場合に重要です。

モニタリング レポートは、Link Usage、Package Usage、および Real-Time Subscriber Usage Raw Data Record (RDR) から作成されます。これらの (SCE プラットフォームによって作成される) RDR は、定期的な (さまざまな粒度の) 使用情報を提供します。この情報は選択されたレポート テンプレートに従って処理され、最終的なレポートになります。

モニタリング レポートは通常、一連のサービス使用カウンタについて、特定のメトリックを選択された粒度で示します。たとえば、リンク粒度で示された P2P およびブラウジング サービス使用カウンタの帯域幅や、Gold パッケージ使用カウンタ内のサブスライバについて示されたストリーミング サービス使用カウンタのボリュームなどです。

SCA Reporter によってレポートするサービス使用カウンタを選択します。選択できるサービス使用カウンタは、レポートの生成元になる SCE プラットフォームのサービス コンフィギュレーションで定義されたカウンタです。

- 粒度 (p.D-5)
- メトリック (p.D-6)

粒度

レポート インスタンスの粒度は、作成されたレポートがどのトラフィックを対象とするかを制御します。3 つの粒度がサポートされています。

- グローバル — レポートされている SCE プラットフォームによって処理されたすべてのトラフィックを表示します。グローバル粒度は、ネットワーク リソースのグローバル配信（直前の 24 時間の合計 P2P 帯域幅など）を表示する場合に使用します。
- パッケージ — 特定のパッケージ使用カウンタ内のサブスライバにマッピングされたトラフィックについてレポートします。パッケージ粒度は、特定のパッケージ使用カウンタに割り当てられたサブスライバによるネットワーク リソースの使用方法をモニタする場合に使用します（たとえば、Gold パッケージ使用カウンタに割り当てられたすべてのサブスライバに対する、直前の 10 日間におけるストリーミング トラフィックの合計ボリュームなどです）。システムでさまざまなパッケージを定義する方法については、『Cisco Service Control Application for Broadband User Guide』の「Using the Service Configuration Editor: Traffic Control」の章を参照してください。

パッケージ使用カウンタ レポートを生成するには、(いずれかのサブスライバ モードで) サブスライバを定義して、特定のパッケージに割り当てる必要があります。サブスライバの管理方法については、『Cisco Service Control Application for Broadband User Guide』の「Using the Subscriber Manager GUI Tool」の章を参照してください。

- サブスライバ — Service Control ソリューションで定義された単一サブスライバのアクティビティを表示します。サブスライバ粒度は、特定のサブスライバによるネットワーク リソースの使用方法を表示する場合に使用します（直前の 12 時間の 1 時間ごとに、特定のサブスライバが生成した P2P セッション数など）。サブスライバ レポートはリアルタイム レポートのフラグが設定されたサブスライバに対して使用できます（リアルタイム サブスライバ レポートの管理については、『Cisco Service Control Application for Broadband User Guide』の「Using the Service Configuration Editor: Traffic Accounting and Reporting」の章を参照）。

各レポート テンプレートは、特定の粒度でレポートを生成します。レポートの各タイプには、対応するレポート テンプレート グループからアクセスできます。

■ レポート テンプレートに関する情報

- グローバル レポート テンプレートには、[Global Monitoring テンプレート グループ \(p.D-7\)](#) からアクセスできます。
- パッケージ レポート テンプレートには、[Package Monitoring テンプレート グループ \(p.D-8\)](#) からアクセスできます。
- サブスクライバ レポート テンプレートには、[Subscriber Monitoring テンプレート グループ \(p.D-10\)](#) からアクセスできます。

メトリック

メトリックは、レポート対象の統計情報です。使用できるメトリックは、次のとおりです。

- **帯域幅** — 選択されたサービスによって消費される合計帯域幅です。デフォルトでは、帯域幅レポートは積み重ね面グラフとして表示されます。このグラフでは、各エリアが、特定のサービスによって使用される帯域幅を示します。

帯域幅レポートを生成するときは、アップストリーム、ダウンストリーム、またはその両方の方向を選択できます。

帯域幅の時間平均を表示することもできます。これは、多数の時間にわたるレポートを作成するときに推奨されます。そうした場合は通常、時間あたり 1 つのデータ ポイントがあれば十分です。これによって表示データ数が削減され、パフォーマンスとデータの見やすさが向上します。

- **ボリューム** — 選択されたサービス使用カウンタの特定期間における合計ボリューム（キロバイトまたはメガバイト単位）です。長期間にわたって平均化されたボリュームを表示する帯域幅メトリックと対照的に、ボリューム レポートは、特定の期間でグループ化された合計消費ボリュームを表示します。デフォルトでは、ボリューム レポートは積み上げ棒グラフとして表示されます（それぞれの棒 / 系列は特定のサービス使用カウンタのボリュームを示します）。

ボリューム レポートは、特定の期間（時間または日）またはレポートの期間全体について累積使用量を示します。たとえば、[Global Hourly Usage Volume](#) レポートは、選択された時間枠の各時間内に各サービス使用カウンタによって消費された合計ボリュームを示す棒グラフを表示し、[Global Aggregated Usage Volume per Service](#) レポートは、レポートの時間枠全体について、各サービス使用カウンタのすべてのボリュームを示します。

- **セッション** — セッションの数です。セッションは単一のネットワーク トランザクションです（RTSP ストリームや P2P ファイル ダウンロードなど）。デフォルトでは、セッション レポートは積み上げ棒グラフとして表示されます（それぞれの棒 / 系列は特定のサービス使用カウンタのセッションの合計数を示します）。

ボリューム レポートと同様に、セッション レポートを特定の期間（時間または日）にグループ化して、特定のサービス使用カウンタが特定の時間または日に消費するセッションの合計数を示すことができます。

トラフィック ディスカバリ レポートに関する情報

トラフィック ディスカバリ レポートは、ネットワーク アクティビティを分析するための未加工の統計情報を提供します。このレポートは、IP ネットワークの一般的なアクティビティに関する情報を取得する場合に役立ち、システムのサービス コンフィギュレーションを定義する場合に重要になります。

トラフィック ディスカバリ レポートは、トランザクション RDR 内の情報に基づいています。

トラフィック ディスカバリ レポートは、選択した *基準* でグループ化され、選択した *順序* パラメータで並べ替えられた、ヒストグラムおよび分布図を生成します。たとえば、上位プロトコル レポートは **Total Volume** でソートされ、上位 Web ホスト レポートは **Hit-Count** でソートされます。

- [基準 \(p.D-7\)](#)
- [順序プロパティ \(p.D-7\)](#)

基準

各レポートテンプレートは、レイヤ3～7に基づく、次のような特定の基準を主に使用しています。

- 上位サーバ IP アドレス
- 上位サーバ ポート番号
- 上位 HTTP Web ホスト
- 上位 NNTP ニュースグループ

順序プロパティ

プロパティを順序付けるメトリックは、レポートのソート キーとなる値を示します。可能な値は次のとおりです。

- アップストリーム ボリューム
- ダウンストリーム ボリューム
- 両方向ボリューム — アップストリームおよびダウンストリーム ボリューム合計
- ヒットカウント — トランザクションの数

各レポートの結果を特定の個数に制限できます。これにより、(選択した値に応じて) アクティビティの上位エリアに焦点を合わせることができます。

Global Monitoring テンプレート グループ

レポートテンプレートの Global Monitoring グループでは、消費されたトラフィック帯域幅またはボリュームに関する統計情報を表示できます。帯域幅/ボリューム消費は、リンク全体に対して、サービス単位で表示できます。

Global Monitoring グループには、次のレポートテンプレートがあります。

- **Global Bandwidth per Service** — サブスクリバやパッケージに関係なくすべてのトラフィックに対する、システム内で定義されたサービス間の帯域幅分布を示します。
- **Global Aggregated Usage Volume per Service** — サブスクリバやパッケージに関係なくすべてのトラフィックに対して、サービス使用カウンタごとに合計トラフィック ボリューム (アップストリームおよびダウンストリーム) を示します。
- **Global Hourly Usage Volume per Service** — システムで定義されたさまざまなサービス使用カウンタ間におけるボリューム分布を 1 時間ごとに表示します。
- **Global Hourly Aggregated Minutes per Service** — システムで定義された各サービス使用カウンタで使用された合計時間 (分単位) を 1 時間ごとに表示します。
- **Global Hourly Usage Sessions per Service** — システムで定義されたさまざまなサービス使用カウンタ間におけるセッション分布を 1 時間ごとに表示します。
- **Global Concurrent Session per Service** — システムで定義されたさまざまなサービス使用カウンタ間における同時セッションの分布を表示します。
- **Global Daily Usage Sessions per Service** — システムで定義されたさまざまなサービス使用カウンタ間におけるセッション分布を 1 日ごとに表示します。
- **Global Daily Usage Volume per Service** — システムで定義されたさまざまなサービス使用カウンタ間におけるボリューム分布を 1 日ごとに表示します。
- **Daily Peak BW for All Packages**

Package Monitoring テンプレート グループ

レポートテンプレートの Package Monitoring グループでは、パッケージが使用するトラフィックの帯域幅またはボリュームの統計情報を表示できます。このレポートは、パッケージが使用する合計ボリュームに対して、サービス使用カウンタごとに表示されます。ボリューム消費は、パッケージのサービスごとに表示できます。

Package Monitoring グループには、次のレポートテンプレートがあります。

- **Package Bandwidth per Service** — 特定のパッケージに属するすべてのサブスクリイバに対する、システム内で定義されたサービス使用カウンタ間の帯域幅分布を示します。
- **Package Aggregated Usage Volume per Service** — 特定パッケージのサブスクリイバのサービス使用カウンタごとに合計トラフィック ボリューム（アップストリームおよびダウンストリーム）を示します。
- **Package Hourly Usage Volume per Service** — 特定のパッケージ使用カウンタのサブスクリイバのトラフィックに対する、システム内で定義されたサービス使用カウンタ間のボリューム分布を、時間でグループ化して示します。
- **Package Hourly Aggregated Minutes per Service** — システムで定義された特定のパッケージ使用カウンタの各サービス使用カウンタで使用された合計時間（分単位）を 1 時間ごとに表示します。
- **Package Hourly Usage Sessions per Service** — 特定のパッケージのサブスクリイバのトラフィックに対する、システム内で定義されたサービス使用カウンタ間のセッション分布を、時間でグループ化して示します。
- **Package Concurrent Session per Service** — システムで定義された特定のパッケージ使用カウンタのさまざまなサービス使用カウンタ間における同時セッションの分布を表示します。
- **Package Daily Usage Sessions per Service** — 特定のパッケージ使用カウンタのサブスクリイバのトラフィックに対する、システム内で定義されたサービス使用カウンタ間のセッション分布を、日でグループ化して示します。
- **Package Daily Usage Volume per Service** — 特定のパッケージ使用カウンタのサブスクリイバのトラフィックに対する、システム内で定義されたサービス使用カウンタ間のボリューム分布を、日でグループ化して示します。
- **Daily Peak BW for Each Package**

Virtual Links Monitoring テンプレート グループ

レポートテンプレートの Virtual Links Monitoring グループでは、仮想リンクが使用するトラフィックの帯域幅またはボリュームの統計情報を表示できます。このレポートは、仮想リンクが使用する合計ボリュームに対して、サービス使用カウンタごとに表示されます。ボリューム消費は、仮想リンクのサービスごとに表示できます。

これらのレポートは、非対称ルーティング分類モードで動作する SCE プラットフォームから収集されたデータを使用して作成することはできません。

表 D-2 Virtual Links Monitoring グループ テンプレート のみのプロパティ

プロパティ	フィールドタイプ	デフォルト	説明
[Items to Focus on]			
[Select VLink ID]	フリー テキスト	(not set)	
[Select VLink direction]	単一選択	(not set)	
[Select VLink names]	多重選択	(not set)	

Virtual Links Monitoring グループには、次のレポート テンプレートがあります。

- VLink Bandwidth per Service — システムで定義されたさまざまなサービス使用カウンタ間における、すべてのサブスクリバの帯域幅分布を表示します。
- VLink Aggregated Usage Volume per Service — サービス使用カウンタごとに合計トラフィック ボリューム（アップストリームおよびダウンストリーム）を示します。
- VLink Hourly Usage Volume per Service — システムで定義されたさまざまなサービス使用カウンタ間におけるボリューム分布を 1 時間ごとに表示します。
- VLink Daily Usage Volume per Service — システムで定義されたさまざまなサービス使用カウンタ間におけるボリューム分布を 1 日ごとに表示します。
- Daily Peak BW for all VLinks

Subscriber Monitoring テンプレート グループ

レポート テンプレートの Subscriber Monitoring グループでは、サブスクライバが使用するトラフィックの帯域幅またはボリュームに関する統計情報を表示できます。このレポートは、サブスクライバが消費する合計ボリュームに対して、サービス使用カウンタごとに表示されます。Top Subscribers レポートは、トラフィック ボリュームを最も消費するサブスクライバを識別します。サブスクライバの帯域幅およびボリュームに関するレポートは、リアルタイム モニタリングが設定されたサブスクライバに対して作成できます。リアルタイム サブスクライバの設定方法については、『Cisco Service Control Application for Broadband User Guide』の「Additional Management Tools and Interfaces」の章にある「Selecting Subscribers for Real-Time Usage Monitoring」を参照してください。

Subscriber Monitoring グループには、次のレポート テンプレートがあります。

- Top Subscribers — 特定日時における上位サブスクライバのボリューム消費のリストを表示します。
- Subscriber Bandwidth per Service — システムで定義されたさまざまなサービス使用カウンタ間における、特定サブスクライバの帯域幅分布を表示します。
- Subscriber Aggregated Usage Volume per Service — 特定サブスクライバで最も数値が高いサービス使用カウンタを表示します。
- Subscriber Hourly Usage Volume per Service — システムで定義されたさまざまなサービス使用カウンタ間における、特定サブスクライバの 1 時間ごとのボリューム分布を表示します。
- Subscriber Hourly Aggregated Minutes per Service — システムで定義された特定のパッケージ使用カウンタの各サービス使用カウンタで使用された合計時間（分単位）を 1 時間ごとに表示します。
- Subscriber Hourly Usage Sessions per Service — システムで定義されたさまざまなサービス使用カウンタ間における、特定サブスクライバの 1 時間ごとのセッション分布を表示します。
- Subscriber Daily Usage Sessions per Service — システムで定義されたさまざまなサービス使用カウンタ間における、特定サブスクライバの 1 日ごとのセッション分布を表示します。
- Subscriber Daily Usage Volume per Service — システムで定義されたさまざまなサービス使用カウンタ間における、特定サブスクライバの 1 日ごとのボリューム分布を表示します。
- Daily Peak BW for Specific Subscriber

Traffic Discovery - Statistics テンプレート グループ

レポート テンプレートの Traffic Discovery - Statistics グループでは、システム トラフィックの送信元と宛先 IP アドレスおよびポートから編集された統計情報を表示できます。

これらのレポートは、非対称ルーティング分類モードで動作する SCE プラットフォームから収集されたデータを使用して作成することはできません。



(注)

このグループのレポートはサブスライバ単位ではなく、一般的なポートおよび IP アドレス情報を示します。

表 D-3 Traffic Discovery - Statistics グループ テンプレート のみのプロパティ

プロパティ	フィールド タイプ	デフォルト	説明
[Traffic Parameters]			
[Transport Protocol]	単一選択	TCP	

Traffic Discovery - Statistics グループには、次のレポート テンプレートが含まれます。

- Top Servers — 特定サービスで最も使用されているサーバを表示します。



(注)

サーバとは、フロー発信側の反対側の IP アドレスのことです。サブスライバ側またはネットワーク側に配置されていることがあります。

- Top Client — 特定サービスで最も使用されているクライアント IP を表示します。



(注)

クライアントとは、フロー発信側の IP アドレスのことです。サブスライバ側またはネットワーク側に配置されていることがあります。

- Top Server Ports — 特定サービスに最も使用されているサーバ ポートを表示します。
- Top Service Ports — 特定の単一サービスまたは複数のサービスで最も使用されているサーバ ポートを表示します。
- Top Protocols — 特定サービスで最も使用されているプロトコルを表示します。
- Top IP Protocols — 特定サービスに最も使用されている IP プロトコルを表示します。
- Top Server IP to Server Port — 特定サービス用サーバ ポートで最も使用されているサーバ IP を表示します。
- Top Client IP to Server Port — 特定サービス用サーバ ポートで最も使用されているクライアント IP を表示します。
- Top Client IP to Server IP — 特定サービス用サーバ IP で最も使用されているクライアント IP を表示します。
- Top Client IP to Server IP and Server Port — 特定サービスに最も使用されているサーバ IP およびサーバ ポートを表示します。

Demographic Data and Service Popularity レポート テンプレート グループ

レポート テンプレートの Demographic Data and Service Popularity グループでは、人口統計データの統計情報を表示できます。

Demographic Data and Service Popularity グループには、次のレポート テンプレートが含まれます。

- **Global Active Subscriber per Service** — サブスクリバやパッケージに関係なくすべてのトラフィックに対する、システム内で定義されたサービス間のサブスクリバ分布を示します。
- **Package Active Subscriber per Service** — システムで定義されたさまざまなサービス間における、特定サブスクリバ パッケージの帯域幅分布を表示します。
- **Service Popularity among Subscribers** — システムで定義されている特定サービスを使用しているサブスクリバのパーセンテージを表示します。
- **Service Popularity among Subscribers of a Specific Package** — システムで定義されている特定パッケージの特定サービスを使用しているサブスクリバのパーセンテージを表示します。
- **Relative Consumption of Top Subscribers** — 「その他のサブスクリバ」と比較して、特定数のサブスクリバの相対消費を表示します。
- **Service Popularity among Subscribers (Average)** — 特定サービスを使用しているサブスクリバの合計数を、その他すべてのサービスを使用しているサブスクリバ数と比較して表示します。
- **Service Popularity among Subscribers of a Specific Package (Average)** — 特定サービスを使用しているサブスクリバの合計数を、特定パッケージのその他すべてのサービスを使用しているサブスクリバ数と比較して表示します。

Web and Streaming レポート テンプレート グループ

レポート テンプレートの Web and Streaming グループでは、事前に定義されたさまざまなシステム サービス（ブラウジング、ストリーミング、およびダウンロードなど）およびユーザー定義サービスに対する一般的なサーバまたはホストを示す統計情報を編集できます。

これらのレポートは、非対称ルーティング分類モードで動作する SCE プラットフォームから収集されたデータを使用して作成することはできません。

表 D-4 Web and Streaming グループ テンプレート みのプロパティ

プロパティ	フィールド タイプ	デフォルト	説明
[Items to Focus on]			
[Where host is contained]	フリー テキスト	(not set)	特定パターンを含むホストをフィルタ処理します。

Web and Streaming グループには、次のレポート テンプレートが含まれます。

- Top Web Hosts — 最も使用されている Web サーバを表示します。
- Top Rtsp Hosts — 最も使用されている Real-Time Streaming Protocol (RTSP) サーバを表示します。
- Top FTP Servers — 最も使用されている FTP ファイル ホストを表示します。
- Top MMS Servers — 最も使用されている MMS ホストを表示します。
- Top Service Servers — 特定の単一サービスまたは複数のサービスで最も使用されているサーバを表示します。
- Service Distribution by Subscriber Packages — 要求側サブスクリバのパッケージごとに、最も使用されている Web サーバを表示します。
- Rtsp Host Distribution by Subscriber Packages — 要求側サブスクリバのパッケージごとに、最も使用されている Rtsp サーバを表示します。
- FTP Server Distribution by Subscriber Packages — 要求側サブスクリバのパッケージごとに、最も使用されている FTP ファイル サーバを表示します。
- MMS Server Distribution by Subscriber Packages — 要求側サブスクリバのパッケージごとに、最も使用されている Microsoft Manager Server サーバを表示します。
- Service Distribution by Subscriber Packages — サブスクリバ パッケージに従って、サービス使用量の分布を表示します。

Mail and News レポート テンプレート グループ

レポートテンプレートの Mail and News グループでは、メールおよびニューストラフィックの統計情報を表示できます。

これらのレポートは、非対称ルーティング分類モードで動作する SCE プラットフォームから収集されたデータを使用して作成することはできません。

Mail and News グループには、次のレポートテンプレートが含まれます。

- Top SMTP Servers — 最も使用されている SMTP ホストを表示します。
- Top POP3 Servers — 最も使用されている POP3 ホストを表示します。
- Top NNTP Servers — 最も使用されている NNTP ホストを表示します。
- TOP E-mail Sender — 上位電子メール送信者を表示します。
- TOP E-mail Recipients — 上位電子メール受信者を表示します。
- Top NNTP Consumers — 上位 NNTP コンシューマを表示します。
- Top Newsgroups — 最も使用されているニュースグループを表示します。
- SMTP Server Distribution by Subscriber Packages — 要求側サブスクリバのパッケージごとに、最も使用されている SMTP サーバを表示します。
- POP3 Server Distribution by Subscriber Packages — 要求側サブスクリバのパッケージごとに、最も使用されている POP3 サーバを表示します。
- NNTP Server Distribution by Subscriber Packages — 要求側サブスクリバのパッケージごとに、最も使用されている NNTP サーバを表示します。
- Top Subscriber to Newsgroup — 特定サービスのニュースグループの上位サブスクリバを表示します。
- Top E-mail Account Owners — 上位電子メールアカウントオーナーを表示します。

P2P レポート テンプレート グループ

レポートテンプレートの P2P グループでは、P2P トラフィックの統計情報を表示できます。

これらのレポートは、非対称ルーティング分類モードで動作する SCE プラットフォームから収集されたデータを使用して作成することはできません。

P2P グループには次のレポートテンプレートがあります。

- Top P2P Protocols — 特定サービスで最も使用されている P2P プロトコルを表示します。
- Top P2P Consumers — 上位 P2P サブスクリバ ボリューム消費のリストを表示します。
- Top P2P Downloaders — 上位 P2P ダウンロード コンシューマを表示します。
- Top P2P Uploaders — 最も使用されている P2P アップロード コンシューマを表示します。

VoIP レポート テンプレート グループ

レポートテンプレートの VoIP グループでは、VoIP トラフィックの統計情報を表示できます。

これらのレポートは、非対称ルーティング分類モードで動作する SCE プラットフォームから収集されたデータを使用して作成することはできません。

表 D-5 VoIP グループ テンプレート のみの プロパティ

プロパティ	フィールドタイプ	デフォルト	説明
[Data Show]			
[Codec to filter]	多重選択	(not set)	

VoIP グループには次のレポートテンプレートがあります。

- Global Bandwidth per VoIP Service — サブスクリイバやパッケージに関係なくすべてのトラフィックに対する、システム内で定義された VoIP サービス間の帯域幅分布を示します。
- Global Concurrent Calls per VoIP Service — システムで定義されたさまざまな VoIP サービス使用カウンタ間における同時セッション分布を 1 日ごとに表示します。
- Global Hourly Call Minutes per VoIP Service — システムで定義されたさまざまな VoIP サービス使用カウンタ間におけるコール時間（分単位）の分布を 1 日ごとに表示します。
- Package Bandwidth per VoIP Service — 特定パッケージのサブスクリイバのトラフィックに対する、システム内で定義された VoIP サービス間の帯域幅分布を示します。
- Packet Concurrent Calls per VoIP Service — システムで定義されたさまざまな VoIP サービス使用カウンタ間における同時セッション分布を 1 日ごとに表示します。
- Package Hourly Call Minutes per VoIP Service — システムで定義されたさまざまな VoIP サービス使用カウンタ間におけるコール時間（分単位）の分布を 1 日ごとに表示します。
- Subscriber Bandwidth per VoIP Service — 特定パッケージのサブスクリイバのトラフィックに対する、システム内で定義された VoIP サービス間の帯域幅分布を示します。
- Subscriber Hourly Call Minutes per VoIP Service — システムで定義されたさまざまな VoIP サービス使用カウンタ間におけるコール時間（分単位）の分布を 1 日ごとに表示します。
- Top SIP Domains — 最も使用されている SIP ドメインを表示します。
- Top Talkers — 特定のまたはすべての VoIP サービスに対する、特定の時間 / 日におけるトーカーのボリューム / セッション / 分数の上位消費量を一覧表示します。
- Global VoIP Packets Loss
- Global VoIP Jitter
- Global Hourly Average VoIP Packets Loss
- Global Hourly Average VoIP Jitter
- Global VoIP MOS
- Global Hourly Average VoIP MOS
- Global VoIP MOS Distribution
- Global VoIP Codec Distribution

Malicious Traffic テンプレート グループ

レポートテンプレートの Malicious Traffic グループでは、システムで発生した悪質イベントの統計情報を表示できます。

表 D-6 Malicious Traffic グループ テンプレート でのプロパティ

プロパティ	フィールドタイプ	デフォルト	説明
[Traffic Parameters]			
[IP protocol]	単一選択	(not set)	
[Filter to port]	フリーテキスト	(not set)	
[Detected IP side]	単一選択	(not set)	

Malicious Traffic グループには次のレポートテンプレートがあります。

- Global Scan or Attack Rate — ホストから発信されたスキャンおよび攻撃（一般的にワームまたはゾンビのため）のレート（1秒あたりのセッション数）を表示します。
- Global Dos Rate — 標的ホストにおける DoS 攻撃のレート（1秒あたりのセッション数）を表示します。
- Top Scanning or Attacking Hosts — DoS 攻撃をしているものとして識別される上位ホストを表示します。
- Top Dos Attacked Hosts — DoS 攻撃を受けている上位ホストを表示します。
- Infected Subscribers — システムのさまざまな IP プロトコル間における、感染サブスクライバの分布を時間の経過とともに表示します。
- DoS Attacked Subscribers — システムで定義されているさまざまな IP プロトコル間における、DoS 攻撃を受けたサブスクライバの分布を時間の経過とともに表示します。
- Top Dos Attacked Subscribers — DoS 攻撃を受けている上位サブスクライバを表示します。
- Top Scanning or Attacking subscribers — DoS 攻撃をしているものとして識別される上位サブスクライバを表示します。
- Top Scanned or Attacked Ports — スキャンされたか攻撃された上位ポートを表示します。